

北野病院からのお知らせ

がん相談支援センターからのお知らせ

がん相談支援センターでは、がんについての情報を探すお手伝いや、さまざまな疑問、悩みをお聞きしながら、がんに向き合うためのより良い方法を見つけていくお手伝いを無料で行っています。今までは、電話での完全予約制で対応させていただいておりましたが、7月からは専門のスタッフが在室する時間を設けるようになりました。少しでも患者様やご家族様、地域の方々が、気軽に相談に立ち寄れる場所にできればと思っておりますので、ぜひご利用ください。

日時／毎週火曜日・木曜日(祝日除く) 13:00~15:00
(平日9:00~16:00、第2を除く土曜日9:00~12:00は開放しています)

場所／5階 がん相談支援センター(兼リボンズハウス)

連絡先／06-6131-2555

(個別面談のご希望につきましては、従来通り電話でのご予約をお願いいたします)

救急講習会のお知らせ

当院では一般の方向けに、救急部看護師による心肺蘇生法の講習会を定期開催しています。実際に成人・小児の人形を使って、胸骨圧迫・AEDの講習を行います。“まさかの時”にも適切な対応ができるよう、正しい対処法と知識を身につけましょう。お子様とご一緒に受講も可能なので、奮ってご参加ください。

日時／奇数月(5・7・9・11・1・3月)第2金曜日 10時~

場所／5階 第6会議室

参加費／無料

お申込み／TEL.06-6312-1221

※お申し込みは救急部(1階)、または当日北野ホール前でも受け付けています。

医学研究募金寄附者一覧 (平成27年7月~9月)

医学研究募金にご寄附をお寄せいただき、ありがとうございました。感謝の意を込めまして、平成27年7月~9月にご寄附いただきました方々のご芳名を掲載させていただきます。

【法人】ティーベック株式会社様、匿名17社様

【個人】景山央子様、徳山信子様、西田和裕様、櫻井敏子様、渡邊勉治郎様、明旣章宏様、早崎ゆう様、内藤信吾様、木嶋周子様、匿名30名様(順不同)

5階 プラナホールイベント (平成27年11月~12月)



プラナホール

◇都山流 尺八の演奏会

日時／平成27年11月25日(水) 15:00開演

出演／城北尺八広場有志の皆様

◇Xmasコンサート

日時／平成27年12月19日(土) 13:45開演

出演／ソロモンバンド

◇クリスマスkidsコンサート

日時／平成27年12月25日(金) 15:00開演

出演／まほ・かれん・けいた・さりい・さき・くみか

いずれのイベントも無料でご参加いただけます。また、事前のお申し込みなども必要ありません。お気軽にお越しください。

腎臓病教室を開催します!

腎臓病を知っていただくために腎臓病教室を開催します。ご家族の方も一緒にどうぞ。なお、内容は変更するおそれがありますので、予めご了承くださいませようよろしくお願いいたします。

◇季節の注意点

日にち／平成27年11月26日(木)

担当者／管理栄養士

◇腎臓病の薬について

日にち／平成28年1月28日(木)

担当者／薬剤師

場所／本館5階 きたのホール

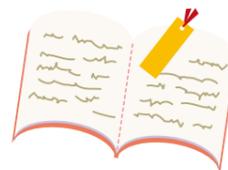
時間／14:30~15:45

参加費／無料

お問い合わせ／北野病院血液浄化センター

TEL.06-6312-1251(直通)

※当教室は予約なしでも参加できます。



患者様と北野病院をつなぐ連絡帳

きたの通信

No.54 2015. 秋号

ご自由にお持ち帰りください

特集

血液がんの治療法 “造血幹細胞移植”とは

「正常な血液を作る細胞を体内に移植し、治癒・回復を図ります」

医療のコトバ これって何?

乳腺外科と脳神経外科に取り入れられた医療機器とは?

かんだホットToday

北野看護システム「相棒」を導入

あなたのまちのホームドクター

医療法人 竹谷クリニック

きたのトピックス / 北野病院からのお知らせ

血液がんの治療法“造血幹細胞移植”とは

「正常な血液を作る細胞を体内に移植し、
治癒・回復を図ります」

血液内科 有馬 靖佳

効果的かつ副作用が少ない血液がん治療をご提案

Q1. 血液がんとは？

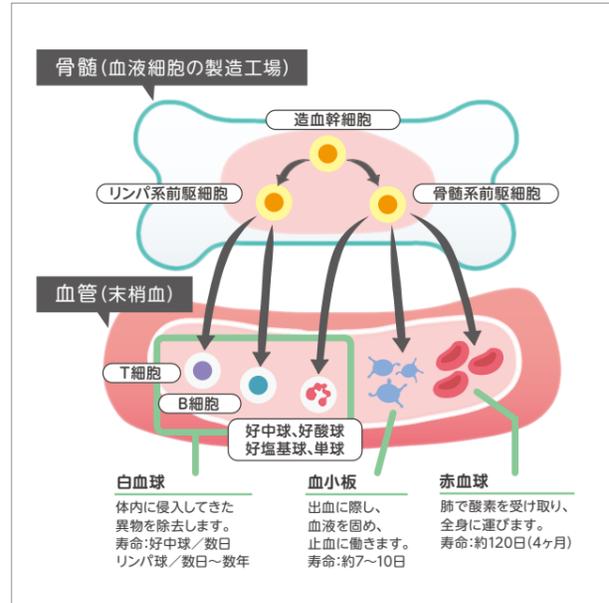
血液は、免疫の役割を担う白血球（リンパ球など）、体中に酸素を運ぶ赤血球、出血を止める血小板や血漿などからできています。これらは骨髄の中に存在する造血幹細胞から作られています。血液がんとは血液が作られる過程で起きる異常で、正常な血液細胞が作られなくなっている状態のことを言います。血液がんには「白血病」、「悪性リンパ腫」、「多発性骨髄腫」など多くの種類があり、治療法もさまざまです。

Q2. どのように治療するのですか？

血液がんは手術ではなく、抗がん剤や放射線による治療が主となります。抗がん剤といっても、飲み薬と点滴を合わせると30から40種類くらいあるでしょうか。最も効果的で副作用が少ない組み合わせが、その腫瘍にあわせて提案されます。

また、造血幹細胞を移植する方法もあります。臍帯血移植（分娩後のへその緒の中の血液である臍帯血には回復力に優れた造血幹細胞が含まれています）や自己末梢血幹細胞移植（自身の末梢血中に出現した造血幹細胞をとり集めたものを用います）もこれに含まれます。

造血幹細胞から血球への分化



ノバルティスファーマ提供資料一部改編

当院は日本骨髄バンクと 日本臍帯血バンクネットワークの認定病院です

Q3. 造血幹細胞移植とは？

「造血幹細胞移植」とは、抗がん剤と放射線照射により、体内の異常な細胞と、もともとある自己の造血幹細胞を減らした後に、新たに正常な造血幹細胞を体に移植することで治癒や回復を図ろうとする方法です。

輸血の際は同じ血液型の赤血球などを用いますが、造血幹細胞移植においては、白血球の型ともいえるHLA型が一致する人の造血幹細胞を用います。HLA型は兄弟姉妹では4分の1の確率で一致するといわれていますが、家族内で一致する人が見つかるとは限りません。その場合には、造血細胞バンクに登録されているドナー（提供者）の中から探し出し、移植認定病院で行われることになります。大阪府下には、日本骨髄バンクの認定病院は12軒、日本臍帯血バンクネットワークの認定病院は16軒あり、当院はどちらからも認定された病院です。

血液がんは自覚症状が出づらい病気です

総合病院であっても、血液内科を設立していない病院はたくさんあります。血液内科がないと診療が難しくなるのは、専門的な「造血器腫瘍（血液がん）」と、それに対する「新規抗がん剤」や「造血幹細胞移植」などの治療の際。そういった患者様が血液内科を受診するきっかけは、急に体調が崩れることもあれば、検診などの血液検査でひっかかるだけで自覚症状のないこともあるそうです。

現在、当院血液内科に入院されている患者様も、8割以上の方が血液がんの治療を受けています。今回は血液内科の有馬主任部長に、血液がんの治療法や、当院血液内科の今後の取り組みについてお話を伺いました。



有馬主任部長

造血肝細胞移植の種類

骨髄移植

古くから行われているもっとも一般的な方法で、ドナーの骨髄から造血幹細胞を採取して移植する方法です。

末梢血管細胞移植

骨髄から採取する方法の代わりとして普及しています。ドナーの末梢血から造血幹細胞を採取して移植する方法です。

臍帯血移植

臍帯血（へその緒の血）を活用します。赤ちゃんの出産後に、へその緒や胎盤に含まれている造血幹細胞を採取して移植する方法です。

当院実績「移植施行件数（過去3年間）」

移植方法		年度(年)	2012	2013	2014	合計
他人からの移植 (同種移植)	非血縁	骨髄	1	3	1	5
		末梢血幹細胞	0	0	0	0
	血縁	骨髄	6	7	7	20
		末梢血幹細胞	1	1	0	2
同種移植総件数			8	14	11	33
自己血を用いた移植（自家移植）			8	3	6	17
年間総移植件数			16	17	17	50

Q4. 今後の展望は？

昔、「慢性骨髄性白血病」は治らないと言われる病気でした。1980年以降、移植によって約半数の方が助かる病気となり、2000年以降は「分子標的治療薬」という疾患にフィットした抗がん剤によって、大多数の方が助かる病気となりました。さらに、ずっと服用し続けなければならないと考えられていた分子標的治療薬は、検査技術の発達で服用をやめることが可能かどうか、判断しやすくなりました。おかげで、不治の病が完治した後の全面的な社会復帰や、出産なども夢ではない時代になりつつあります。

この病気以外でも、血液疾患の分野では治療法の進歩が早く、1年の間に数多くの治療新薬が発売されています。当院では時代の流れに乗り遅れず、最新の治療法に積極的に取り組み、最善の結果が出せるよう努力しています。「エビデンス（科学的な根拠）に基づいた効果のある治療法」について、主治医から詳しい説明が最初にあります。そして治療開始後は、ガイドラインに沿った客観性や合理性が保たれます。それを行うのは、医師だけではない「チーム医療」です。当院でも、移植コーディネーターや薬剤師、理学療法士をはじめとする、コメディカルが参加したチームとして、治療に取り組んでいます。

ここがポイント

- 血液がんの治療法は、患者様のご容態やご要望に沿った最善の方法を医療者と共に考えましょう。
- 血液がんは、治療期間が長く続くことが多いので、1人で抱え込まないでください。少しでも患者様に寄り添った治療ができるよう、当院スタッフ一同、努力致しますので、どうぞご相談ください。

これって何?

聞いたことがあるような、ないような?
難しい医療用語などをわかりやすく解説します。

乳腺外科と脳神経外科に 取り入れられた医療機器

とは?

患者様により安全性の高い医療をご提供いたします。

乳腺外科

①新しい超音波(エコー)装置「Aplio 500」では、しこりの硬さを画像化する技術「エラストグラフィ」が可能になりました。力を加えたときに柔らかいしこりは大きな変形を生じますが、硬いしこりはほとんど変形しません。その変形の程度を色で表したものがエラストグラフィで、良性病変に比べてがん組織が「より硬い」ことを利用してがんを検出します。他にも「MicroPure」という画像処理機能で微細石灰化の視認性が上がり、非浸潤がん(早期がん)の発見率向上が期待されます。

②マンモトーム生検は、マンモグラフィや超音波ガイド下で、良性か悪性かを診断する組織検査です。「リポルブ」はマンモグラフィガイド下用で、回転式のサンプルカップ内に自動で検体を採取します。以前よりも効率の良い組織の採取が可能になり、検査時間の短縮が可能となりました。

①超音波(エコー)装置
Aplio 500



②マンモトーム
リポルブ



脳神経外科

③術中全身麻酔下で手術を受けられる患者様の各種神経機能をモニタリングする機械です。通常、全身麻酔下で手術を受けられる場合、患者様の神経機能が維持されているかどうかは、麻酔から醒めるまでわかりません。当施設では、症例数の多い顔面痙攣症・三叉神経痛に対する微小血管減圧術の際、聴力温存のため、神経機能検査装置を継続して使用しておりました。脳腫瘍や脊椎の手術時に、四肢の感覚や筋力を温存するため、マルチチャンネルの同時記録が必要となり「ニューロマスターシリーズ」の8チャンネル型を2011年に導入しました。加えて、視神経近傍の腫瘍(頭蓋底腫瘍や下垂体腺腫)には視覚の温存を術中に確認する必要があるため、「LED光刺激装置」と同シリーズ16チャンネルの「神経機能検査装置」を導入しました。

③神経機能検査装置
MEE1200シリーズ
ニューロマスター



③LED光刺激装置



かんごホットToday

北野看護システム 「相棒」を導入

2人1組で患者様1人を担当する 看護体制を実施しています

看護師同士が相乗効果を発揮し、
より安心・安全な看護の提供を目指します

北野看護システム「相棒」とは、1人の患者様に対して、2人の看護師が担当するシステムです。これは、福井大学医学部付属病院で行われているPNS(パートナーシップナーシングシステム)を参考にしています。「相棒」の語源は、大阪らしく親しみやすい名前をつけたいと考え、テレビドラマ「相棒」の主演2人が同じ目的に向かって協調し、協働しているところからとりました。昨年12月より導入をして、今では看護師内でも「私の相棒どこ行った?」と笑顔でコミュニケーションが飛び交うほど、すっかり定着しています。

このシステム導入の目的は、看護師2人が対等に互いの特性や能力と強みを活かし、1+1=2にも4にもなる相乗効果の期待(シナジー効果)を看護に発揮することです。その他にも、お互いの持っている資

源の共有や、知識・技術など専門知識の向上をはかりチームワークの強化が期待できます。そして、最終目的は患者様への安心で安全な質の高い看護の提供です。

4月からは、導入後、初めての新人を迎え不安もありましたが、トリオで先輩看護師と一緒に患者様を担当してまいりました。新人は、先輩と常に行動を共にするため、例年に比べて看護技術や患者様への接し方などの習得が早く、今では先輩と「相棒」となり、頼もしく、明るく元気に頑張っています。

現在導入から9ヶ月が経過し、患者様からは「2人の看護師さんが担当だと安心できるね」というお声をいただくなど、他にもさまざまな形で効果が現れてきています。また、他部署でも次々と相棒システムの導入が行われています。今後も相棒システムで、患者様にとって入院生活をより安心・安全に送っていただけるような看護を目指して努力していきたいと思っております。



お互いに情報を共有し、より良い看護を目指しています。





北野病院と連携いただいている医療機関をご紹介します。「地域医療サービスマスター」ではかかりつけ医のお探しをお手伝いしています。お気軽にお尋ねください。

あなたのまちのホームドクター

大阪市 都島区

医療法人 竹谷クリニック

【診療科目】内科、胃腸科、外科、リハビリテーション科

親切・丁寧な診療で 患者様の不安や お悩み事を軽減

今回ご紹介するのは、都島区にある医療法人 竹谷クリニックです。大学病院で心臓外科・心臓移植を専門に研究・治療をされていた竹谷哲先生は、父親が開業した同クリニックで平成20年より院長として診療を行っています。専門の循環器疾患はもちろんのこと、内科全般や外科の手術後フォローを積極的に受け入れており、地下鉄谷町線都島駅よりすぐという利便性の高さから、通勤途中のサラリーマンも多く受診に訪れています。

通院されている患者様の多くは近隣に住まわれていることから、地域に親しまれていることが伺えます。「開業してから、患者さんの気持ちに寄り添った医療ができるようになったと感じています。耳鼻科医であった祖父母の代からこの地域に住んでおり、祖父母が診ていた患者さんやその家族を自分が診られることを嬉しく思います」。

竹谷先生が大切にしているのは、患者様と病院を結び架け橋になることです。患者様が他の病院の先生に遠慮して聞けないことや相談できないことがある際には、竹谷先生が直接その病院の医師やスタッフに連絡しているそうです。また、病気についても、クリニックで丁寧に説明し、患者様が病気と前向きに向き合えるよう心がけておられます。

竹谷クリニックでは、当院で急性期治療を終えた患者様も幅広くフォローされています。また、当院の医師とも積極的に交流されており、勉強会などを通じて“顔の見える連携”を実践されています。



▲都島駅から徒歩すぐの立地です。



▲医療に関する読み物も置かれる待合室。



竹谷 哲 (たけたに さとし) 先生
「病気に関するお悩み事や不安、わからないことなど、何でもご相談ください」



医療法人 竹谷クリニック

〒534-0021 大阪市都島区
都島本通2丁目16番11号
TEL.06-6924-2325
http://taketani.byoinnavi.jp/



診療	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	休
午後 17:30~19:30	●	●	●	●	●	休	休

休診日：土曜午後、日曜、祝日
地下鉄谷町線 都島駅2番出口

●病氣と闘う子どもたちに笑顔をお届け

小児科にクリニックラウン来訪

平成27年8月28日、8階西小児科病棟にクリニックラウン^(※)の方々に来ていただきました。クリニックラウンとは「クリニック(診療所)」と「クラウン(道化師)」を合わせた造語で、入院中の子どもたちに笑顔をお届けしてくれる方々のことです。当院でも、小児がんと闘っていたり、長期入院している子どもが沢山います。今回のクリニックラウンの来訪は、辛い治療や刺激の少ない入院生活を過ごす子どもたちの素敵な笑顔に出会える良い機会となりました。笑顔と活気に満ちあふれた時間は、家族間の交流の場ともなり、当院小児科看護師としても、さらに頑張っていこうと刺激を受けた時間となりました。



※NPO法人
日本クリニックラウン協会所属

●栄養バランスについて楽しく学びましょう

きたの栄養教室のご案内

栄養部では、入院患者様を対象に毎月1回“きたの栄養教室”を開催しています。患者様が集まりやすい午後7時から始め、栄養バランスを中心とした30分間の教室です。教室への参加を通して、病院食や日ごろの食事に関心を持ち、健康管理に役立てていただきたいと思っています。毎回30名ほどの参加があり、「勉強になった」「退院後の生活にいかしたい」という感想が多数を占めます。質問も多く、活発な教室となり、食事への関心の高さを実感しています。今後も、楽しく!ためになる!教室を目指していきます。



●7月のテーマは検査や薬について

「腎臓病教室」のご報告

多くの専門職が連携して開催している腎臓病教室。7月は臨床検査技師の「検査でわかること」、薬剤師の「腎臓病の薬について」がテーマでした。熱心に質問される参加者もおられ、「腎臓病についてどうしたらいいのか不安でしたが、教室に参加して安心できました」など、嬉しい声も聞かせていただいています。参加費は無料です。腎臓病について理解していただけるようわかりやすくお伝えしますので、ぜひご参加ください。心より、お待ちしております。



●心安らぐピアノの演奏をお楽しみください

ボランティア活動のご報告

当院にはさまざまなボランティアスタッフによる活動があります。今回ご紹介するのは、演奏ボランティアの加納美穂さんです。今年1月、お父様のご入院の際、プラナホールにあるピアノをご覧になり、演奏ボランティアのお申し出をいただいたのがスタートです。「闘病中の患者様や、元気を取り戻された方の心安らぐ時間となりますように」との願いを込めて毎週来てくださっています。心温まる演奏とともに見せられるあふれる笑顔に、今ではファンの方もおられ、毎週の演奏を楽しみに来場される方もいらっしゃいます。皆様もプラナホールに響く素敵なピアノの音色を楽しみにいらしてみませんか。



日時/毎週木曜12:45頃～ 場所/5階プラナホール
参加費/無料 ※都合により、休演の場合もございます。

きたの通信 No.54 2015. 秋号

企画・制作/北野病院広報委員会 www.kitano-hp.or.jp/
発行日/2015年10月30日

take free!!